



森の里小学校
研修部通信
令和3年11月5日

10月の低学年ブロック研修 ～1年2組・3年1組～

2年1組

10月12日（火）の2時間目に1年2組学級の赤間先生に授業をしていただきました。単元は「たしざん」です。3+9の式から、被加数・加数の大小に関係なく、10のまとまりをつくることに着目して計算の仕方を考える学習となります。



☆授業感想の内容（○成果 ●課題）

視点1に関わって

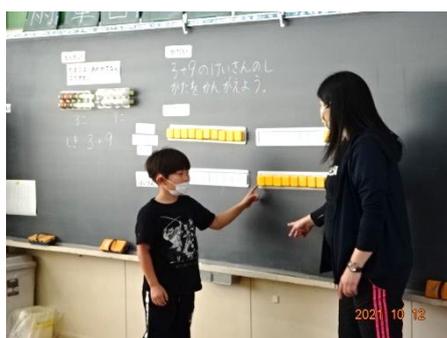
- たまごを使った問題提示により子どもたちが引きつけられ、学習意欲につながっていた。
- 掲示物を活用した既習事項の確認がスムーズでした。これまで学習してきたことをよく覚えており、しっかり見通しが持っていました。「10のまとまり」「さくらんぼ」「ブロック」などの見通しのプレートが良いですね。
- 手順を明確にして活動を区切ると、1年生にとって動きやすいなと感じました。（一人学びでブロック操作3分、書く時間4分など）

視点2に関わって

- ブロックをどのように動かしていたか、一人ひとりがよく説明できていました。自分の考えと相手の考えが同じか違うかをきちんととらえていたと思います。

ICT機器に関わって

- クロームブックを使った計算のしかたのまとめでは、見やすく子どもが集中でき、何度もくり返せるので良いと思いました。



3年1組

10月22日（金）の2時間目には、3年1組学級の松久先生に授業をしていただきました。単元は「小数の引き算」です。0.5-0.2の式から、0.1をもとにして整数の計算で考える方法をとらえる学習となります。



☆授業感想の内容（○成果 ●課題）

視点1に関わって

- 既習事項（0.1をもとにした小数のたし算）がしっかりと定着していた。掲示物で振り返れる環境づくりがされている。
- 既習確認から本時の見通しにつなげていくことで、課題意識がはっきりとし、子ども達から課題の言葉が出てきていた。

視点2に関わって

- 交流の意味ややり方を丁寧に確認していたのがよかった。日常的な交流の積み重ねから力がついていることが感じられた。
- ノートに自分の考えを自分の言葉で書いている子が多く、鍛えられていると感じた。
- なぜ交流するのか、の意図を先生が子ども達に繰り返し伝えられてきたので、どの子も声に出して自分の考えを伝えていた。全員で理解するという共通の目標が素晴らしい。
- ペア交流では、考え方が同じでも表現の仕方や言い方の違いで「違うね」と感じる様子がありました。今は難しくても、高学年になるにつれて、内容の違いを理解できるようになるのが理想ですね。

ICT機器に関わって

- 小数を数字上の理解だけでなく、具体的に操作活動をさせ、視覚的に理解させる場面を設定したことで、0.1の量感を掴むことができたと思います。見通しの持たせ方にICTをうまく活用されていた。
- 黒板とChromebookのどちらも教材があって、分かりやすかった。手元操作する子ども達から、意欲を感じました。
- ICTにつきものの「ちょっとしたトラブル」を想定した授業展開を考えておかななくてはならないが、臨機応変に対応されていた。
- Chromebookの子ども操作が教師機に反映されるのに時間がかかる。

その他

- しっかり学習にむかう姿勢ができていて素晴らしかった。
- ふりかえりの時間まで余裕をもってとることができていて、時間配分もよかった。
- スモールステップで本時の課題へつなぐ展開が素晴らしかった。課題も子どものつぶやきを拾いながら提示されていた。できそうだ！と思わせる重要な場面だった。
- 一人だけの発言にとどまらず、複数人に発言させる場面の設定が素晴らしい。
- 授業進行のテンポが速く、ぼーっとする隙間時間を作らせない技が素晴らしい。
- ノートに問題等を書き終わったらノートを持って立つことで、早く書こうとする自発的活動を生んでいる。

